

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市 錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2333回

平成18年10月3日(火) 晴(本年度 第14回)

会長報告

丸山隆志

第4回理事会報告

1. 新入会員歓迎会収支報告書について(幹事より)
2. 東京東江戸川 RC 親睦家族旅行の対応について
10/14(親睦委員会より)
3. 東根 RC 創立40周年記念式典の参加:10/21(土)
出席:会長・幹事・真島・樋渡4名
4. 米沢中央 RC 創立20周年記念式典の参加:
10/22(日) 出席:会長・幹事
5. 10/17: GSE 歓迎・時間変更例会(6:30より)
6. GSE 受入れ対応について(嶺岸国際奉仕理事より)

先週の行事について

- 10/1(日): 青少年交換留学生面接: 村山市
(推薦生徒: 荒木春佳・嶺岸国際奉仕理事)
面接は合格し 10/21・22 に寒河江市でオリエンテーションに参加します。
- 10/1(日): 由良香頭ヶ浜海岸清掃 AM10:00～
今回は米沢・山形・酒田の RAC の方々も参加して頂きました。鶴岡クラブからは15名の参加でした。相変わらずペットボトル・空き缶が多く、2時間ほどの作業の後、RAC と孝子さんの味付けによる芋煮を頂きました。樋渡さん指導の薩摩芋の焼き芋は絶品でした。晴天に恵まれ、きれいになった海岸で、穏やかで綺麗な海を前に頂く芋煮は格別でした。社会奉仕、新世代委員会をはじめ参加された皆様に御礼申し上げます。

* * *

今月は、職業奉仕・米山月間です。山添高校インターンシップを受け入れて下さる企業の皆様宜しくお願い致します。又、米山奨学会年次寄付 15,000 円 / 1 人年間を目標にご協力お願いします。

本日は、鶴岡市立加茂水族館館長 村上龍男(むらかみ たつお) 氏のゲストスピーチです。クラゲを20種以上常設という世界一のクラゲ水族館までの

苦労話、クラゲアイス、越前クラゲの対応等のお話をしていただければと思っております。

村上龍男 氏の主な経歴

昭和33年 キリスト教独立学園卒
昭和38年 山形大学農学部卒
昭和38年 株式会社藤商事入社
昭和41年 鶴岡市立加茂水族館勤務
昭和42年 加茂水族館館長
著書 山形の魚類たち(昭和61年)
思い出語り雑魚しめ(平成7年)
思い出語りイワナ釣り三昧(平成9年)
クラゲ写真集(平成16年)
庄内の磯釣り(平成18年)

クラゲ水族館のその後

ゲストスピーチ

加茂水族館 館長 村上龍男氏

加茂水族館は昭和39年にオープンした、当初20万人以上の入館者が有って賑わっていたが、間もなく隣県に水族館がつぎつぎと建設されるにつれて、入館者に減少が目立つようになった。

何とか回復させようと色々な取り組みをしたが全とうまくいかなかった。平成9年にドン底を迎え経営が行き詰まったが、その年に行った特別展「生きたサンゴと珊瑚礁の魚展」の水槽に突然「小さな生き物」が泳ぎだした。これを育てた所クラゲに育った。

大きくして展示したのが、加茂水族館のクラゲ展示の始まりだった。以後少しずつ展示を増やして、平成12年には日本一、17年には世界一の展示をするまでに成長した。同時にクラゲアイスや、クラゲ饅頭、羊羹などクラゲ商品も開発、日本中の話題となる。平成18年春、クラゲレストランをオープン。「エチゼンクラゲ定食」を考案して驚かせた。



ー米山奨学事業の理解のためにー

RI2800地区米山奨学委員会 加藤 功

ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付金を財源とし、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給します。この事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

米山奨学生は奨学期間中にロータリーの例会や奉仕活動に参加することによって、日本の文化、習慣などを学び、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、世界平和の創造と維持に貢献する人材となることが期待されます。この事業の特長として、奨学金にとる経済的支援だけではなく世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。ロータリーの豊かな人的資源を活かした世話クラブとカウンセラー制度は、留学生や大学からの期待も大きく、その充実と強化が望まれます。

米山奨学生の優秀性とは、学業優秀だけでなく異文化理解や地域交流などへの積極的な姿勢が求められます。米山奨学生は、指定校・学校推薦制度に基づいて行われ、米山奨学生の募集・選考は、地区が決定する指定校から優秀な学生を推薦してもらい、これらの候補者から地区が選考します。地区独自の推薦基準を指定校へ提示することにより、特徴をもった留学生支援を実現できます。

ロータリー米山奨学金の種類は、2006年度制度改変版によると、①博士・修士・学部課程対象、②前記以外の高等教育機関対象（地区奨励）、③奨学期間終了者対象（クラブ支援）④上級研究者対象（海外学友会推薦）⑤現地採用があります。

各地区には、2007学年採用合計・募集総数796名（800-4）について、地区別割当算出方法（有資格学生1割・80名、個人平均寄付額5割・398名、寄付総額4割・318名）に基づいて34地区に割当られます。それによるとRI2800地区では14（継続者4）で新規採用者は8名に決定しています。

奨学生割当数・募集要項の承認後、採用（資格審査・書類審査から面接試験～合格）までにマニュアルが用意されています。なお、10月は①YU・YM・YD／地区奨励奨学金申込期間②クラブ支援奨学金申込期間（地区割当数の範囲内）③資格審査があります。

さて、地区米山奨学委員会の役割は、1. 米山奨学事業の理解促進と寄付増進をはかる。そのために（1）各種セミナーの企画と開催（2）各クラブへ事業のPRをする。各クラブ米山奨学委員長と奨学生

に卓話の案内・月信など「ハイライトよねやま」（豆辞典・友・パワーポイント・ポスター・ビデオなど）（3）寄付金動向を把握する。2. 奨学生の募集・選考・採用と世話クラブ選定。3. 米山奨学生や学友のフォローと学友会のサポート。4. カウンセラー研修会実施とその充実であります。

平成18年8月26日、山形大学留学センター助教教授尤銘煌を講師に招き、RI2800地区米山奨学セミナー兼カウンセラー研修会が行われました。昨年度当地区の米山奨学寄付金総額は2千万8千円であり、一人当たり個人平均寄付額は9,694円と全国34地区の第29位で、平均の14,478円に遠く及びません。ロータリアンのこの奨学制度に対する意義にこれまで以上の理解と、更なるご支援・ご協力をご期待申し上げます。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎田 健

本日の出席		前々回の出席	
会員数	47人	出席率	65.91%
出席数	33人	修正出席数	34人
出席率	73.33%	確定出席率	77.27%

●メイクアップされた方

足立篤司君 藤川享胤君 秦 幸助君
丸山隆志君 迎田 健君 嶺岸禮三君
塚原初男君 上野欣一君 樋渡美智子君
本間昭吉君 加藤 功君 真島吉也君
越智茂昭君 佐藤孝子君

スマイル

佐藤孝子君 村上館長さん、スピーチありがとうございました。

藤川享胤君 ○元会員の村上さん、スピーチ有難うございました。この15年間の御苦勞話に感銘を受けました。○斎藤昭さん、お帰りなさい。ゆっくりと体調を整えて下さい。

斎藤 昭君 3ヶ月ぶりに例会出席致しました。まだ充分ではありませんが、充分注意致して参ります。またロータリーからのお見舞いを頂き、ありがとうございます。どうぞ宜しくお願いします。

丸山隆志君 ○村上さんスピーチ有難うございました。○斎藤昭さんお帰りなさい。

石田 雄君 インフォーマルミーティングにたくさん参加して頂き、内容も充実しました。ありがとうございます。そして、それも塚原先生のおかげです。ありがとうございました。